

【登壇者プロフィール】

畑正高（株式会社松栄堂代表取締役社長）

1954年、京都生まれ。同志社大学卒業後、渡英。1977年、松栄堂入社。1998年、代表取締役社長就任。社業に加え、香文化普及発展のため国内外での講演・文化活動に取り組む。2022年、文化庁長官表彰受賞。2024年、旭日双光章受章。アメリカにおいては、20年にわたる文化交流活動に対し、2004年ボストン日本協会よりセーヤー賞を受賞。著書に『香三才』（東京書籍、2004年）、『香清話』（淡交社、2011年）、『香千秋』（松栄堂、2023年）などがある。



福與 伸二（サントリー株式会社チーフブレンダー）

1961年、愛知県生まれ。名古屋大学農学部農芸化学科卒業。1984年サントリー株式会社（当時）に入社。白州ディスティラリー（現在の白州蒸溜所）、ブレンダー室を経て、1996年に渡英。ヘリオットワット大学（エジンバラ）駐在や、モリソンボウモア ディスティラーズ（グラスゴー）への出向勤務の後、2002年帰国。2003年に主席ブレンダー、2006年にブレンダー室長を経て、2009年に5代目チーフブレンダーに就任。山崎の各種限定シリーズをはじめ、数多くのサントリーウイスキーを手掛けている。



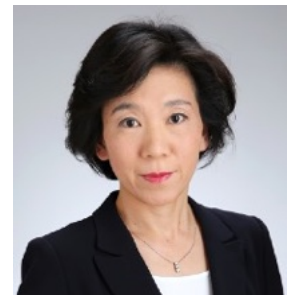
小西寧子（漆芸家）

1968年、奈良生まれ。京都女子短期大学部文化国語専攻卒業。1992年、結婚を機に実家の家業である漆芸を始める。父・北村昭斎（人間国宝）に師事。2006年、文化庁文化財修理技術者講習修了、2009年「螺鈿の系譜 人間国宝北村昭斎展」（高島屋大阪店）に出品。ギャラリーきのわ（奈良市）にて個展開催。2012年、国際漆芸玩飾展（北京 QIAO GALLAERY）出品、2013年、「北村繁・小西寧子二人展」（高島屋大阪ギャラリーNEXT）開催、2015年～2017年、「工藝を我らに」展（資生堂アートハウス）に出品。受賞歴として、2001年日本伝統工芸近畿展近畿支部奨励賞受賞、2011年第40回日本伝統工芸近畿店にて奈良県教育委員会長賞。



黒田正玄（竹細工・柄杓師 14代）

1967年、京都生まれ。生家の黒田家は400年以上続く竹細工の家として、千家十職の竹細工・柄杓師を務める。同志社女子大学学芸学部英文学科卒業後、航空貨物会社勤務を経て家業に従事。2006年より千家に出仕。2014年に「14代黒田正玄」を襲名。2015年から2016年にかけて、「襲名記念 十四代 黒田正玄展」を全国6カ所で開催。2016年、「茶の湯の継承千家十職の軌跡」展（日本橋三越本店）に出品。



大倉源次郎（能楽小鼓方大倉流16世宗家、重要無形文化財保持者）

1957年、大阪生まれ。父15世宗家・大倉長十郎に師事。1964年独鼓「鮎之段」にて初舞台。1981年甲南大学卒業。1985年能楽小鼓方大倉流16世宗家を継承（同時に大鼓方大倉流宗家預かり）。新作能、復曲能に数多く参加。能楽DVD「大和秦曲抄」「五体風体」を制作。1991年大阪市咲くやこの花賞、2015年観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞。2017年に重要無形文化財保持者各個認定（人間国宝）。公益社団法人能楽協会理事。一般社団法人東京能楽囃子科協議会理事。一般社団法人日本能楽会会員。著書に、『大倉源次郎の能楽談義』（淡交社、2017年）、『能から紐解く日本史』（扶桑社、2021年）

